

農作業コツのコツ

【第5号】

平成30年5月15日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター 南砺班
福光農業協同組合 営農部

水稲 ～適正な水管理で初期茎数を確保しましょう～

1 田植後の水管理

- (1) 活着まで（田植後3～5日程度）
 - ・苗が水浸しない程度のやや深水（5cm程度）で保温効果を高め、根の活着を促進しましょう。
- (2) 活着後
 - ・浅水管理（3cm程度）で田水温を高めて、分げつを促進しましょう（図1）。

※ただし、強風や低温時にはやや深水にしましょう。

(3) 田んぼがわいたり、藻が発生した場合

- ・水の入れ換えや晴れた日に1～2日程軽い田干しを行います。

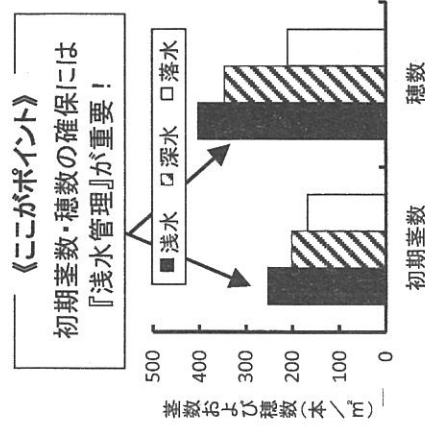
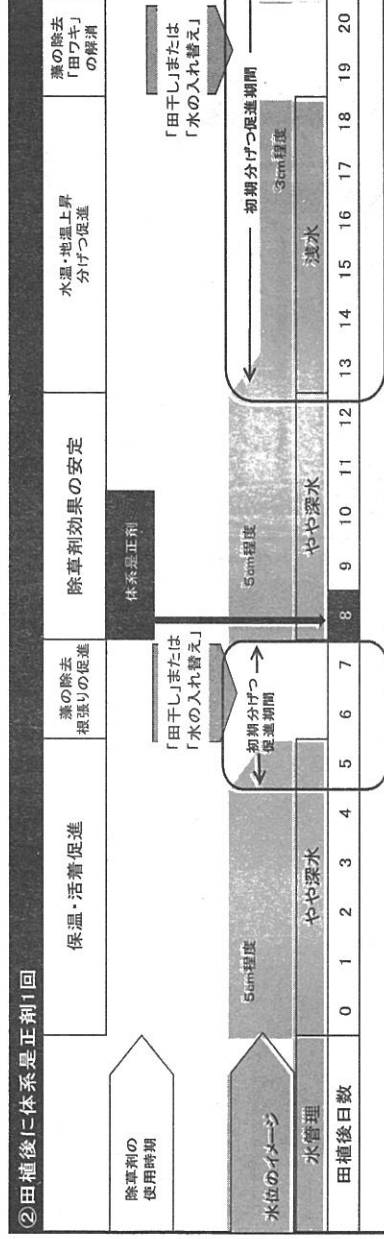


図1 初期の水管理が初期茎数および穂数に及ぼす影響（H24農研）

田植後の水管理 ～初期分げつの確保と除草効果を高める水管理～



2 除草剤の使用法 ～除草剤散布後は5日間湛水状態を保つのがコツ～

- ① 使用基準、使用上の注意を守り、効果的に除草剤を使用しましょう。
- ② 効果を確実にするため、散布後5日間は湛水状態（水深5cm程度）を保ち、田面を露出させないよう、水が足りなくなったら、ゆっくりと差し水しましょう。
- ③ 除草剤成分が水田外へ流出しないよう、散布後7日間はかけ流しや落水を行わないようにしましょう。

※詳しくは「営農とくらし」の40～45ページを参照して下さい。

3 水稻直播の管理 ～除草剤はまき遅れないのがコツ～

出芽は良好ですが、雑草の発生も早くなっています。1回目の除草剤の散布適期は極めて短い(イネ1.5～ノビエ2.5葉期)ので逃さず散布しましょう。

①カルバマーの場合

・播種後の田干し管理が終了したら、浅水管理(3cm程度)で田水温を高めて分げつを促進しましょう。

・イネ1.5葉期になったら、ガンガン1キロ粒剤又はボデーガード1キロ粒剤を散布しましょう。

②鉄コウテイングの場合

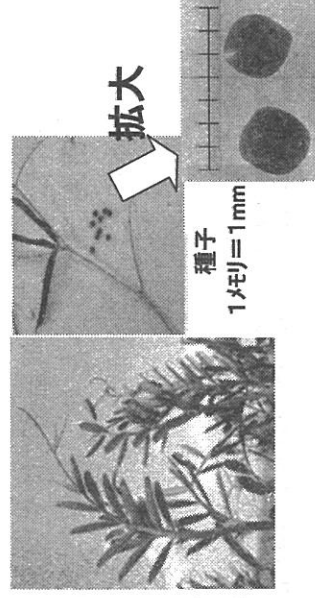
・播種後7日程度は灌水管理を行い、その後はイネ1葉期まで飽水管理を行いましょう。

・残草がある場合は、イネ1.5葉期になっていることを確認のうえ、ガンガン1キロ粒剤又はボデーガード1キロ粒剤を散布しましょう。

大麦

カラスノエンドウが残っているほ場が散見されます。

カラスノエンドウの種子は粒径3mm程度となるので調製で取り除くことが困難です。
刈取り前に必ず抜き取りましょう。



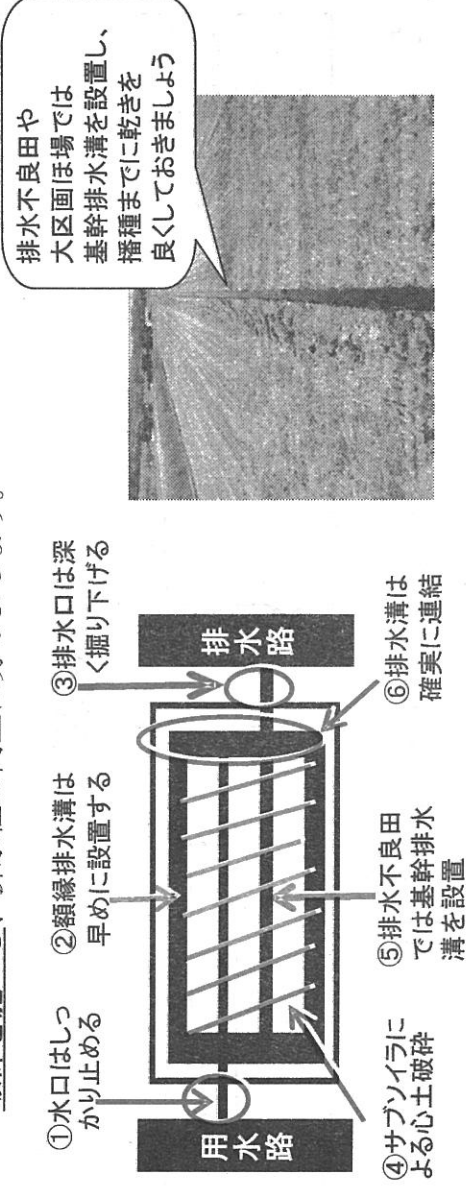
＜カラスノエンドウと種子＞

大豆

播種時の状態(排水対策・碎土率・播種量)が収穫まで影響します。播種前からの排水対策をしっかり行い、収量と品質の向上を目指しましょう。

1 播種前の排水対策～額縁排水溝の設置や心土破碎による排水対策を行うのがコツ～

- ・額縁排水溝をほ場の4辺に設置して、播種前の土壌を乾かしておきましょう。
- ・透水性の悪いほ場は、ほ場内に基幹排水溝を設置したり、サブソイラによる心土破碎を施工し、排水性の向上に努めましょう。



2 土づくり～苦土石灰の施用で酸性矯正するのがコツ～

- ・耕起前に苦土石灰を散布し、酸性矯正するとともに、「醗酵けいふん」等の有機物を積極的に施用しましょう。

	10a当たりの施用量
苦土石灰	100～200kg
醗酵けいふん	100～150kg
堆きゆう肥	2m ³